

地域密着の情報共有フリーペーパー

2016年1月1日 お！宮町地域情報編集局 発行



038PRESS

vol. 19

新春号

宮町のイベントキャラクター
みやつち

お み や プ レ ス



仙台東照宮の節分祭

今季の特集
P2~P3

変わりゆく空き店舗の役割

～地域商業の受け皿から地域生活の拠点へ～

P4…… 宮町通りに今春から自転車通行帯が整備されます !!

東六地区説明会開催 !

P5…… 第 19 回お宮町なるほどツアー

P6…… NEWS&TOPICS (地域情報)

P7…… 東京余話 vol.13 / 第 19 回教えて浄圓房さん !

P8…… 学校行事予定 / Omiyamachi ほっとすぺーす No.06

/ 校長室から vol.2 / ベットにまつわるワンダーランド第 1 回



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ 038 プレスへようこそ 検索

ブログ おみやプレスのブログ 検索

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

変わりゆく空き店舗の役割

地域商業の受け皿から地域生活の拠点へ

空き店舗が増えるお宮町、
その実態は…

ご存知の通り、お宮町は藩政時代の門前町や明治期以降には遊郭もあった歴史のある街です。その周辺には閑静な住宅街が広がっていますが、戦後は多くの商店が建ち並び、住民の日々の生活を支えてきました。しかしながら、その姿は20年ほど前から変わり始めてきました。その背景の1つには郊外型のショッピングセンターの隆盛があります。自転車でもアクセスできる幸町エリアは商業施設の激戦区になりました。背景のもう1つは宮町通りの都市計画道路が完成したことです。道路の拡幅に伴い、多くの商店が店をたたみ、アパート経営や駐車場経営に移行しました。これらをきっかけに、小さな商店が次第に減少し始めました。

①シャッターの閉まった店舗が多い。

「空き店舗だからシャッターが閉まっていて当たり前」とお思いかもしれませんが、実際のところはこれらの店舗跡が空き店舗なのか、倉庫などとして今も使われているのかは定かではありません。そもそも、所有者が物件を貸し出す意思があるかどうかもわかりません。しかし、少なくともこのようなシャッターを見ると、「寂れた街」であるように感じてしまいます。

②店舗併用住宅に空き店舗が多い。

かつての商店の多くは、店舗に住宅が併設されていました。これらの物件の多くは、店舗部分と住宅部分が分離されておらず、トイレが1つしかなかったり、2階に上るには店舗部分を経由しなければならな

4つのグループごとに意見を取りまとめ、発表

038 プレス編集部と宮町商店街振興組合では、昨年度より仙台市青葉区のまちづくり助成制度を活用して、宮町を起業家のメッカにしようという試みを行ってきました。近年、周辺に大型店舗が増え始めており、商店街としての賑わいを取り戻していくためには、商店経営者の他に様々な立場の住民の考え方を取り入れていくことが重要です。

そこで、かねてより東六地区のまちづくりのアドバイスをいただいていた仙台高専の小山沢准教授に協力を仰ぎ、商店街とその周辺部の実態調査を進めてきました。

去る10月4日に今後の方策について商店街と住民によるワークショップを開催したところ、参加者から様々な意見が出て来ました。今回はその一端を報告するとともに、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

かったりといった事情から、店舗部分だけを貸し出すことができない状況にあると考えられます。

③不動産市場での流通物件が少ない。

今回の調査期間では、わずか6軒の空き店舗に入居者募集の看板が出ていました。この数は全体の空き店舗数に比べても少ないですし、これらに共通するのはすべて築35年以上（すなわち古い耐震基準）の建物であることでした。言い換えれば、新しい物件は空き店舗になる間もなく、入居者が決まっている状況にあります。

空き店舗の活用を考えよう

去る10月4日に東六コミュニティセンターを会場に「新しい商店街づくりワークショップ」を開催し、これからの空き店舗活用について検討を行いました。ワークショップとはみんなで考えを巡らせながら、アイデアを出し合う作業です。チャラシなどで事前に参加の呼びかけを行い、当



調査結果について説明する小地沢准教授

日は商店街組合員や地域住民に加え、地域外の学生たちも参加しました。

まずは、地区内の店舗の利用状況やエリアごとのイメージを確認し合いました。次に、仙台高専の学生たちが考えた空き店舗の使い方11パターン（「販売」「飲食」「福祉」「〇〇教室」など）に基づいて、世代や性別ごとのニーズについて議論しました。その結果、宮町地区の空き店舗には次のような役割が期待されていることがわかりました。

- ◎ 地域の特色がある店舗がよい。
- ◎ 家族で利用できる店舗が好ましい。
- ◎ 子どもの見守りができると望ましい。
- ◎ 学びの場や発表の場、地域情報を得られる場が複合化しているとうれしい。

さらに、空き店舗を経営する事業者像について検討したところ、「子育て世代向けの店舗の運営には子育て世代が参画できるような支援があるとよい」、「地区の年配者と地区外の意欲ある若者が協力し合えないだろうか」などといった声に賛同が集まりました。総じていえば、空き店舗が埋まっていくのを市場原理に任せるのではなく、地区住民総ぐるみで真に必要な店舗づくりを実践していくことが不可欠だという結論が導き出されました。そのためには、空き店舗の運営にチャレンジしたいと思う人たちとの関わり合いも重要ですし、居住地や世代を超えた連携も必要になることでしょう。



付箋紙にアイデアを書き出して地図上に貼っていききました

空き店舗のもう一つの可能性

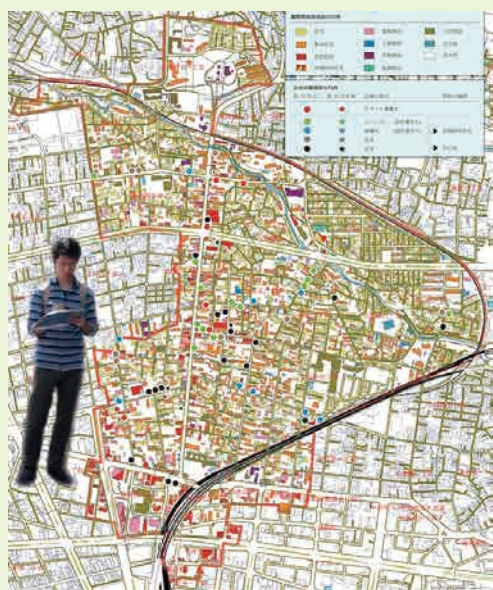
宮町地区の空き店舗の特徴として、店舗併用住宅の店舗部分の空きが多いことを指摘しました。おそらく住居部分には、かつてお店を経営された方々が今も暮らしていることでしょ

う。こういった方々はすでにご高齢かもしれせん。しかしこれまで世間で繰り広げられてきた空き店舗活用戦略では、暮らしている方々の存在を重視せず、新規事業者が入居する「器」として空き店舗を見ていた傾向があります。本来であれば誰しもが晩年まで地区内で生き生きと暮

らし、同時にお客さんであり続けることが重要なはず。良好な居住環境が地区になれば、いくら新規事業者が出店してもそこにはお客さんがおらず、経営が成り立たないでしょう。

これからの宮町地区での空き店舗活用の方向性として、高齢期の暮らしを充実させるための住宅、健康増進、福祉や医療などの拠点としての充実を図ることも重要であるように思われます。ゆりかごから墓場まで“を考えれば、次の世代を迎え入れるための子育て環境づくりの視点でも、空き店舗が担う役割は大きいことでしょう。

（本文執筆…国立高専機構 仙台高専
准教授／特定非営利活動法人コミュニティ代表理事 小地沢将之）



仙台高専の学生たちの調査による宮町地域の空き店舗状況図

宮町通りに今春から自転車通行帯が整備されます!! 東六地区説明会開催!

2015年10月6日、東六コミュニティセンターにおいて「宮町通線自転車通行帯」整備計画について地区説明会が開催されました。

当日は地域の町内会長・関係団体長三十数名と、行政側からは青葉区道路課、区民生活課、市民局自転車交通安全課、北警察署交通課から各担当者が出席しました。

市側から近年宮町通線の自転車通行量が増加し、歩道上での自転車と歩行者との接触事故が多発している現状を改善し、歩行者の安全を確保するために、宮町通線の東六小学校角から東照宮踏切付近までの道路両側に、ほぼ1m幅の自転車通行帯を設置する計画が示されました。整備完了時期は2016年3月を目標に、2月末までに道路ラインの引き直し、標識設置を行うとのこと。



この計画に対して出席者から、通行帯設置に伴いゼブラ帯がなくなり交差点の右折車線の幅が現在より狭くなり、「交差点

「自転車が行けることのできる専用の車線」



宮町一丁目バス停付近

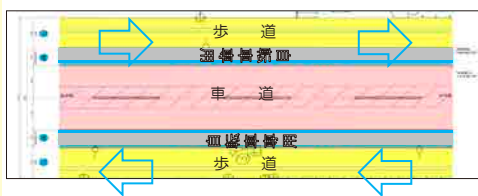
整備イメージ図

側通行の原則が守られるのか」といった幾つかの懸念が提起されました。

道路交通法では自転車は車輛の仲間なので、原則車道の左側を走行することになっており、例外として歩道を走行できるのは13歳未満か70歳以上の人や身体的に不自由な人、また、歩道上に「通行可」の標識がある場合に限り限られています。

仙台市からの工事のお知らせは当然のことながら、地域側からは早い段階での住民への周知徹底と、整備完成時にはある程度の期間、現場で

「自転車が行けることのできる専用の車線」



丁寧な走行指導を行い、住民皆が、新交通ルールを理解し、自転車の左側通行が守られるような環境づくりをするように意見・要望が出され、説明会を終了しました。

「ルールを守って安全走行」 自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行。
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行。
- ④ 安全ルールを守る。

- ・ 飲酒運転・二人乗り・並進は禁止。
- ・ 夜間はライトを点灯。
- ・ 交差点での信号遵守と安全確認。
- ⑤ こどもはヘルメット着用。

(平成十九年七月中央交通安全対策本部制定)

出席関係者の声

宮町商店街(佐藤理事長)

歩行者の安全は勿論ですが、自転車も走り易くなり、その結果宮町通りが安心安全で沢山の人が集まり、楽しくゆつくり買い物出来る街になることを願います。

東六小学校(木村教頭)

子供たちの登下校がより安心安全になることは結構なことですが、国道45号線交差点も含め、所轄警察署による交通ルールについての交通安全教室の開催を要望します。

東六小学校PTA(折腹会長)

子供たちの安心・安全につながることは賛成ですが、地域住民の理解と協力が得られる様に、事前の周知徹底を充分に図って欲しい。

(東六地区連合町内会 今泉清二)



第19回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは、宮町1丁目・2丁目界隈の個性的な店3軒を回りました。いずれの店舗も、宮町に新風を吹き込む勢いが感じられ、地域を元気にしてくれるものと期待しています。



手作りの作品を楽しみませんか？

ワークショップ&ギャラリー 小西屋

小西屋は、江戸時代から続く手芸用品の店です。家族の着物を手縫いした時代から160年間、暮らしの変化に応じた品揃えで、手仕事をする人を支えてきました。昨年5月に、ワークショップ&ギャラリー小西屋として新装オープン。手作り作品の展示販売、純銀粘土やポタリーペインティングなどのワークショップの場を提供しています。「体験講習はどれでも1,500円（税別）です。手作りの楽しさに出会ってみませんか」と講師の佐久間裕子さん。銀粘土の講座ではアクセサリーを作ります。バレンタインデーに、手作りの銀の指輪をプレゼントしてはいかがでしょうか。

営 10:00 ~ 17:00 休 日曜・祝日 月末除く土曜
住 青葉区宮町1-3-15 TEL 022-227-2450
HP <http://www.16.plala.or.jp/conisiya/>



ポタリーペインティング
講師 佐久間裕子さん



体験講習受講いただいた方に猫のリングスタンドかアクセサリーポーチプレゼント
(1月末まで有効)



成績保証のある個別指導 城南コベッツ

セミナー講師等を経験しながら、物事を画一的に教える時代は終息に向かっていると感じ、又、未来を担う子供達の個性に合わせた教育をしたいと思い個別指導の仕事を始めたと話してくれた、代表の高橋さん。

城南コベッツでは、地域にあった学習、そして、生徒個人の性格や個性に合わせた指導を行い、月ごとの面接でカリキュラムを作成し、生徒、保護者の目標達成に向けて、全力で取り組み、定期テスト対策勉強会等も追加の学費を頂く事無く実施しています。受験に対する悩み、学校での悩み事に対する相談も受けています。

営 16:00 ~ 22:00 休 日曜・祝日
住 仙台市青葉区宮町2-1-48 TEL 022-398-4125



代表 高橋さん



「038プレスを見た」で、通常1回の体験授業を3回に致します



BAR 感覚で気軽に立ち寄れる 和食バル 楽美酒

「和食バル楽美酒」は小田原ツルハ向かいにある、絶品の和食と選りすぐりの酒を楽しむ店です。店主の佐藤さんは和食店などで15年修行して今の店を開店させました。店内は入ると数多くのワイン、日本酒など35種類以上、しかもなかなか入手困難なものや、限定品もあります。食事メニューも定番で、お奨め品をはじめ更に50種類以上あり、酒に合う旬の魚介料理、洋食など、どれを食べたくなるか迷うくらいです。食材があればメニューに無い物も作ってくれます。一般的な店でのお通し、テーブルチャージがなく、飲んだ分、食べた分だけの会計です。女性一人でも気軽に入りやすく、一度行って見る価値のある店です。

営 17:00 ~ 25:00 休 毎週火曜
住 青葉区小田原6-3-1 TEL 022-796-2608 FB 和食バル楽美酒



店主 佐藤誠さん



「038プレスを見た」で店内にあるドリンクメニューから1杯サービス
(1月末まで有効)

次回のご案内

今回は右の3店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

- ①やすらぎ整骨院宮町院
- ②八百ふじ 宮町店
- ③まかない屋 宮町店

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日時 平成28年1月30日(土) 13:00 ~ 15:00
集合場所 13:00 八百ふじ宮町店前集合
参加費 無料 お買い物どうぞ!!

仙台東照宮の行事予定

- 大晦日 12月31日(木) 15時～年越の大祓式
 - 初詣 1月1日(金) 8時～歳旦祭
 - どんと祭 1月14日(木) 15時～火入式
(お飾り等の事前持込は社務所までお納め下さい。2日～3日前からは直接お焚き上げ場所迄お納め下さい。)
 - 節分祭 2月3日(水) 15時30分撒豆式(豆まき)
- お申し込み・お問合せ
※参拝には出来るだけ公共交通機関をご利用願います。
仙台東照宮社務所 仙台市青葉区東照宮 1-6-1
電話 022-234-3247

宮町商店街情報(どんと祭)

- 内容 宮町商店街青年部による販売
お宮町手ぬぐい・お宮町せんべい・甘酒、玉コン・
みそおでん・月山の若水 他
- 日時 1月14日(木) 11時～21時(なくなり次第終了)
- 場所 仙台東照宮
- 問合 宮町商店街振興組合 022-268-2268

「仙台初売り」の歴史

安土桃山時代から旧伊達領では「買い初め」「売り初め」の商習慣があり記録が残されています。仙台の町割り後、城下の中心、芭蕉の辻で始まった仲見世[※]は年末に大いに栄えました。仲見世は江戸中期以降、大晦日まで延長されるようになり、その後、戊辰の役、ご一新後、士族を支える組織・特権・経済基盤が次々と剥奪された世情にあつて、仙台伊達家の家臣だった山家豊三郎^{やんべとよさぶろう}は、玉沢横丁・東一番丁(現・広瀬通一番町)辺りにあつた自邸内に数十戸を建てて「山家横丁」と称し、藩士たちに商売をさせました。その後、東一番丁沿いには芝居小屋、映画館、寄席、喫茶店、芸妓置屋、露天などが立ち並ぶようになり、江戸時代からの商業の中心地だった大町・国分町・芭蕉の辻は、時代とともに東一番丁・大町・日形町などへと移り、新たな商店街として賑わうようになりました。仲見世はやがて東一番丁の「歳の市」と呼ばれるようになり、現代の1月2日は初売(売り初め・買い初め)・初荷という年中行事へと発展してきました。

※ 仙台の初売りの前身は大町の肝入の只野小右衛門が仲見世を開く特権を得て芭蕉の辻で始められ、辻の中心には四谷用水が流れ、その流れを挟んで屋台や簡易な店舗が並び、歳暮や正月飾りの売場で賑わった。



宮城野区中央市民センター講座報告

若者たちが壁新聞づくりを通して、情報の伝え方などを学ぶ「まいぶろ・かべしんぶん部」(仙台市宮城野区中央市民センター主催)のワークショップが平成27年11月7日、同センターであり、本紙の千葉富士男編集長らが住民が主体となり情報を発信することの意義などを伝えました。

活動には仙台市内の大学に通う約10人が参加しています。いずれも昨年、開業した仙台南の杜水族館や市営地下鉄東西線などを取材。客を楽しませるための工夫や地域との関わりなどを若者の視点で切り取り、壁新聞を作っています。千葉編集長は「地域情報紙を発行することが目的ではなく、さまざまな活動を仕掛け地域を活性化することが重要」と強調。その上で「地域を知ると足りない何かが見つかる。そうした課題の解決に向け議論を巻き起こし多様な意見を拾い上げることが情報紙の存在意義」と訴えました。

ワークショップで講義のほか、読者に伝わりやすい原稿を書くためのコツなどの指導もありました。

NEWS & TOPICS

地域情報

東六学区民運動会賑わう。

第44回学区民運動会が平成27年10月4日(日)東六小学校にて開催されました。当日は、綱引きに障害物競走、地区対抗リレーなどが行われるなど、終日、歓声と笑顔の花が咲く学区民運動会となりました。結果は以下の通り。

当日の成績結果

<町内会の部>

- 第1位 金剛院丁東部町内会
- 第2位 東六睦会町内会
- 第3位 青葉のまち町内会

<子供会の部>

- 第1位 小田原バラッショ子供会
- 第2位 高松子供会
- 第3位 はたご子供会



商店街ワークショップを開催します。

明日からお店で活用できる実践型ゼミ ビジュアルに見せる・視覚で魅せる商店力向上ゼミ

宮町商店街振興組合と038プレス編集部では、宮町商店街振興の一環として宮町地域で物販や飲食業を営んでいる経営者や管理者向けのゼミを開催いたします。各分野において高い専門性を持ち、現場を熟知した一流講師陣をお招きし、理論編と実践編の2部構成のゼミとなっております。

なお、今回は将来自分で店を持ちたいとお考えの方々も参加可能ですので、奮ってお申し込みください。

●物販向けゼミ

第1回目

平成28年1月26日(火) 19時～20時30分

商店力向上作戦①

物販編レクチャー：店の売場からお客様の買場へ

第2回目

平成28年2月2日(火) 19時～20時30分

商店力向上作戦②

物販編ワークショップ：売り場づくりの基礎

ディスプレイデザイナーによる買いたい陳列&演出実践

●飲食店向けゼミ

第1回目

平成28年2月23日(火) 15時～16時30分

商店力向上作戦②

飲食編レクチャー：売りたいメニューから食べたいメニューへ

選びやすいメニューづくりの基礎

第2回目

平成28年3月8日(火) 15時～16時30分

商店力向上作戦②

飲食編ワークショップ：食べたい写真撮影実践編

場所 東六コミュニティ・センター2F
仙台市青葉区錦町二丁目4番48号

爆買い

この秋、中国山東省と北京を旅した。北京を案内してくれた葛さんという現地旅行社の人の話が面白かった。

「中国人の日本での『爆買い』は、こちらのテレビでも取り上げられるんですよ。少し前まで人気だったのはトイレのウォッシュレットでしたが、今は象印とタイガーの炊飯器です」

お笑い芸人のような風貌で、日本語はかなりの腕前。でも、最近はずいぶん付いているそうだ。

「日本から来るお客さんが減ってきて……本当は日本のお客さんを案内したいんですが、最近では中国人を日本に連れて行く仕事が多々あります。毎月のように銀座や鹿児島に行っています」

なるほど、東京の銀座を歩くとあちこちから中国語の会話が聞こえてくる。欧米系の人もいるが、大半がアジア系。スーツケースを手にした人は、爆買い目的の旅行者だろう。

一方、銀座から地下鉄を乗り継いで20分の距離にある明治神宮（渋谷区）に行くと、少し様子が変わる。9月末、1年振りに参道を歩いてみたが、明らかに外国人が増えた。ただ、目についたのは欧米系の人々。ガイドブックを手に、少人数でのんびり歩いているのが印象的だった。

この差は、旅行目的の違いからきているのだろう。経済発展の途上にある国と、成熟した国に暮らす人々とは関心が違って当然だ。



スーツケースを持って銀座を歩く中国人旅行者

日本人もアメリカなどでモノや不動産を買いあさった時期があったし、中国では、かつて日本人に安値で買われた書の道具などを高値で買い戻す動きが出ているそうだ。

それはともかく、政府は「2020年までに2000万人」としていた外国人旅行者受け入れの目標を3000万人に引き上げようとしている。都内のホテルは宿泊費が高騰し、予約が取れない状況なのに、それに拍車がかかるのは必至だ。そして、中国人の爆買いにけん引された外国人旅行者の増加が「観光バブル」に過ぎず、2020年の東京五輪・パラリンピックを境にはじけてしまったら……。

北京の葛さんはその後も日本を訪れ、銀座や大阪の心斎橋に中国人を案内しているだろう。爆買いもいつかは終わる。そのとき葛さんの姿が、たとえば仙台の東照宮や瑞宝殿にあつたら、日本は安定した観光大国への道を歩んでいるかもしれない。

第19回

どんと祭(松焚祭)の起源とは

ねえねえ浄圓房さん、仙台東照宮のどんと祭は昔からの「お祭り」なんですか？

はいはい承知した。近年、大崎八幡宮をはじめとした宮城県内各地の神社の境内で1月14日から翌朝にかけて開催される正月の松飾りを炊き上げる風習を一般に「どんと祭」と言っておるが、実は、これまで大崎八幡宮の独立した祭礼や行事と見なされてきた「どんと祭」は、宮城県内にかなり古くから広く分布していた「松焚き」の風習が土台と言える。そもそも現在の「裸参り」の形態や装束は宮城の造り酒屋で働く南部杜氏の故郷、岩手県の裸参りに由来するんじや。また仙台台地方に古くから伝わる「暁参り」は若い男女が夜通し歩く出逢いの風習じや。江戸中期以降、「松焚き」や「暁参り」の仙台地方の風習と吟醸祈願する南部杜氏の「寒参り」の風習が緋い交ぜになり出来上がった祭と言えんじや。

へえそうなんだあ！いくつもの風習が合わさって「お祭り」が出来てるって面白い！

「どんと祭」の呼名も明治期の新聞で言われ始めるが、もともと「ドンド」という言い方が江戸時代から仙台台地方で使われておったからなんじや。



明治以降、どんと祭や裸参りが急速に普及・拡大・拡散して行く背景には「大崎八幡宮の



どんと祭」が持つ現在のよう都市型のイベントの性格が大いに大眾に支持され、皆こぞて詣でて大いに楽しんだからなんじや！口上販売や実演販売などの特技を磨いた売り手や夜店が一堂に会し、仙台達磨、まといの店やヨーヨー売りもあった。食物は仙台駄菓子、甘酒屋、小金焼、芭蕉煎餅、スルメの醤油焼き等が並び、最盛期には日本全国の露天商が仙台のどんと祭に集まったと言われている。現在では見かけなくなった弓矢・風車・張子面に人形、独楽などの郷土玩具、花や提灯などを精巧に紙で切り出した紙細工屋や、竹とんぼに水鉄砲などを並べた竹細工屋等は近頃は見かけなくなり、淋しいかぎりじや。そこに集まる人を目掛けて中心部商店街や花柳界、おודなの商店や企業も多く参加して益々栄えたんじや。

大崎八幡宮の松焚祭(どんと祭)は、特定の神社の伝統ある祭事と言うより、仙台の地で広く営まれていた小正月の民間習俗が「都市」と「近代」という社会的・歴史的な背景のもとで、拡大再生産された新たな都市の習俗であり、貴重な民俗文化財である、と言えるかもしれない。

「お祭」は尊いんじや！

今年も楽しみなねっ！



出典：大崎八幡宮の松焚祭と裸参り調査報告書(2006年12月仙台市教育委員会)

文／千葉富士男
イラスト／がんじー



「仙尊年中行事繪巻」に描かれた3人の蔵人らしい人物の裸参りの様子。桶に書かれた菅原の文字は、万治3年(1660)に仙台でも最古参の市中酒屋として創業した国分町の酒家菅原家(銘柄名「千松屋」)であると推定される。絵巻の成立年代は嘉永3年(1850)頃。

◆東六番丁小学校	
1月20日(水)～22日(金)	校内書きぞめ展
2月12日(金)	全国小学校英語活動実践研究大会仙台大会授業提供
2月27日(土)	スクールバンド卒業コンサート(シルバーセンター)
3月18日(金)	卒業式
◆五城中学校	
2月26日(金)	卒業生を送る会
3月12日(土)	卒業式
3月30日(水)	離任式

◆北六番丁小学校	
2月6日(土)	旧正月を楽しもう！(北六小おやじの会主催)
2月12日(金)	全国小学校英語活動実践研究大会仙台大会授業提供
3月18日(金)	卒業式
◆常盤学園高校	
1月13日(水)	推薦入試
1月27日(水)・29日(金)	一般入試
3月1日(火)	卒業式

今号の表紙画 『仙台東照宮の節分祭』



ちょっと気が早いですが、毎年冬の恒例行事「節分祭」。仙台東照宮の豆まきでは、豆と思いきや、いろいろなものがまかれます。当たり券がついているかも。
宮町商店街から甘酒のふるまいもあって、ちょっと幸せな気分になります。(がんじー)

何気ない風景に溶け込んだ『まちの一コマ』

Omiyamachi ほっとすぺーす No. 06

新年・冬のお参り



夏の福澤神社

秋の松尾神社

新年・冬はどこの神社へお参りしますか？

皆様、良い年になりますように

校長室から

vol. 2

仙台市立北六番丁小学校

校長 栗林 八重子

○学校のよさ

北六番丁小学校は開校七十七年目を迎え、現在、児童数が311名、学級は14学級です。児童数は、ここ何年か300人前後で推移しています。

本校の学校・家庭・地域で取り組む「協働型学校目標」は「人やくらしとかかわる力の育成」です。今年度は、児童が、地域の方々の良さや地域の行事・歴史などの良さに気付くこと、進んで挨拶すること、地域の行事に進んで参加すること、学校生活や地域をより良くするために自分で考えたり行動したりすること等を具体的な目標にして様々な教育活動を展開しています。子どもたち一人一人の良さが生きるよう、そして、人とかかわる楽しさを学ばせることができるよう、教職員一同が知恵を出し合い力を合わせて、『楽しい学校』を目指して取り組んでいます。

私たちにとっては、地域の方々の学校を想う温かい心や保護者の皆様方の優しい笑顔やご支援が大きな支えの一つとなっています。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

○私のことですが…

私は温泉などへ出かけるのが好きで、よく出かけています。その中から二つを紹介します。

一つ目は、新潟県五泉市の咲花温泉です。お湯は硫黄泉で湧出時は無色なのですが、空気にふれ反応するとエメラルドグリーンに色づく温泉です。時間帯によってもその色が様々で、とても綺麗な色のいいお湯でした。

もう一つは、変わったお風呂場です。群馬県の四万温泉にある豊風呂で、大浴場の床全面に畳が敷き詰められているお風呂です。何とも不思議な感覚でしたが、優しいもあり楽しいお風呂でした。これからも時間を見つけて、いろいろな所に出かけ、楽しいことや珍しい物などを見つけたと思っています。

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL: 022-723-8000



西松建設株式会社
北日本支社 様
仙台市青葉区大町2-8-33
TEL 022-261-8161

資産運用と有効利用のベストパートナー

株式会社マイザ 様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-9830

協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック様

株式会社
アサヒ建築設計事務所 様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-5230

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集メンバー

主筆

海老一朗

編集長

千葉富士男

編集委員

遠藤真吾

加藤久枝

鹿野恵美子

加納実

菊池ゆう子

木村くみ

佐藤正則

佐藤靖

穴戸俊彦

高橋孝敏

永田良治

針生英一

星瑞枝

三岡昭博

顧問

今泉清二

アドバイザー

内海睦夫

イラスト

がんじー

038 プレス info



ブログ



ホームページ

ベトナムにまつわるワンダーランド【第一回】動物から学ぶ。

犬の群れの特徴について

犬は、群れを成す動物の一種ですが、群れを成す動物の中で大きく異なる特徴があります。それは、犬は、犬の中でも群れるのではなく、人間の中でも群れるという特徴です。

犬は、人間と一緒に生活することで食への確保など生きる上で都合が良かったと考えた数少ない動物なのです。人間にとっても番犬になるなど都合があったことが密接な関係を保ち続けたのです。

では、何故、犬は、盲導犬や聴導犬などの仕事をするのか？それは、犬は、飼主の喜びを我が事のように喜べるからなのです。

仕事とは、人のためになつてこそ価値がある。仕事をする事で自分として家族、さらに他人を幸せにすることができ、地域を住み良い街にしてくれるのです。犬の仕事に対する純粋さを見習おう！

佐藤 広行